

## 米軍オスプレイの事故に関する意見書

先月29日、本県屋久島の東沖約1 km付近で米軍横田基地に所属する空軍機C V-22オスプレイが墜落し、国内初となる死亡事故が発生した。

オスプレイは、国外でも死亡事故やトラブルが相次いで報告されており、国内においては、2016年に米海兵隊普天間飛行場に所属するMV-22オスプレイが訓練中に沖縄県名護市の沖合に不時着水して搭乗員2名が負傷し、機体が大破する事故が発生している。

また、今年9月から10月には本県奄美空港や徳之島空港への緊急着陸が続いていたところである。

現在、国内では、これらの米軍機のほか陸上自衛隊機V-22など3種類、計44機のオスプレイが配備されており、基本的な構造や性能は同じとされている。機体の不具合や構造的な欠陥が原因だった場合、今回と同様の事故が発生しかねない状況である。

加えて、万一、住宅地や航行中の船舶の上空から墜落した場合には、県民を巻き込む大惨事につながりかねないものであり、かかる事態の発生も憂慮されることに対する強い懸念と不安を県民に抱かせていることは、誠に遺憾である。

オスプレイは、日米の同盟関係強化の現場で南西諸島防衛の主力として重要な役割が期待され、今後さらに運用が拡大される見込みである。兵員や装備品の輸送に加え、住民避難の運用も想定される。

よって、国におかれては、今般の事故における本県の状況を踏まえ、県民の不安を払拭するよう十分配慮するとともに、安全・安心を確保する観点から次のとおり米軍に要請されるよう強く要望する。

### 記

- 1 原因究明の徹底及び再発防止に万全を期すること。
- 2 事故の原因が究明され、再発防止策が講じられるまでは、引き続きオスプレイの飛行を停止すること。
- 3 関係自治体や地域住民に丁寧な情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月19日

鹿児島県議会議長 松里保廣

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣 殿  
外務大臣  
防衛大臣  
内閣官房長官